



2021年5月14日

各位

株式会社フィスコ  
代表取締役社長 狩野 仁志  
(JASDAQ・コード3807)  
問い合わせ先：  
取締役管理本部長 松崎 祐之  
電話番号 03(5774)2440 (代表)

### 2021年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2021年2月15日に公表しました、2021年12月期通期(2021年1月1日～2021年12月31日)に関して、見直すこととしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 2021年12月期業績予想の修正について

##### (1) 2021年12月期通期(2021年1月1日～2021年12月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,074	百万円 76	百万円 231	百万円 226	円 銭 4.96
今回修正予想(B)	1,094	91	285	873	19.12
増減額(B-A)	20	15	54	647	
増減率(%)	1.86	19.73	23.37	286.28	
ご参考(前期実績) 2020年12月期	1,119	61	△127	66	1.48

##### (2) 修正の理由

当社の持分法適用関連会社である株式会社Zaif Holdings(以下、「Zaif HD」といいます。)は、2021年3月15日に株式会社CAICA(以下、「CAICA」といいます。)の連結子会社となりました。これに伴いZaif HDでは決算期の変更を行っており、当社への持分法による投資損益の数値の取込時期に変更が生じることとなりました。なお、当社は引き続き、Zaif HDの株式を保有しており、当社の持分法適用関連会社としての位置づけに変更はありません。

また、売上高につきましては、金融・経済情報配信サービス分野におきまして、アウトソーシングサービスの取引増加および個人向けサービスである、「クラブフィスコ」の売上が伸長しているほか、暗号資産マーケットの急伸に伴った広告売上高の増加なども加わり、堅調に推移しております。上場企業を対象としたIR支援及びコンサルティングサービス分野におきましては、前期に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高

は減少傾向にありましたが、中核サービスであるスポンサー型アナリストレポート（企業調査レポート）の受注が計画以上に推移しております。広告代理業分野では、需要が高まるネット広告や動画制作に重点を置いた提案活動を行っており、コロナ禍でツール等の制作が止まっていた企業も弱含みながら復活しつつあることから、販促ツール制作も徐々に獲得できる状況となっており、前回予想を 20 百万円上回る売上高 1,094 百万円となる見込みとなり、上方修正いたしました。

営業利益につきましては、継続的な営業体制の見直しや外注費用の見直しなどにより前回予想を 15 百万円上回る 91 百万円の営業利益となる見込みとなり、上方修正いたしました。

経常利益につきましては、営業外収益で暗号資産売却益 99 百万円を計上したことおよび Zaif HD の持分法による投資利益を 87 百万計上したことから、経常利益は前回予想を 54 百万円上回る 285 百万円を見込んでおり、CAICA による Zaif HD 子会社化に伴う持分法変動利益 592 百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は 873 百万円となる見込みとなり、上方修正いたしました。

以 上